



— 門前映像祭 —

2月4日から長野相生座ロキシーで始った門前映像祭。6、7日は「世界のインディペンデント・アニメーション、その今」と題してアニメーションが上映されました。アトリエでは6日の午後7時から「父を探して」と「明日の世界」を見てきました。

* インディペンデント(アニメーション)・・・自主の、独立した、自由な意



「父を探して」
ブラジルの監督が現代ブラジルの都市化とその闇についての寓話 それでも人は生きていく。

<ストーリー>
親子三人で幸せに暮らしていた日、父が都会へと出稼ぎに行った。そしてその父を探して少年が旅に出る・・・。
ラストシーンが印象的で、最後にドッキとした映画でした。

映画館の壁面ではプロジェクション・マッピングが上映されていました

～ ポップコーンとDVD ～

1月31(火)

今日は大きな鍋でポップコーンをNさんに作ってもらって映画館で見る時の様に美味しく頂きながらDVDを見ていました。

午前の部はディベアのアットホームな感じかと思いきや過激な発言のテッドを見て、午後は想像以上に描写がすごいレヴェナント(蘇りし者)の二本立てでしたが、パッケージや批評に良い意味でも悪い意味でもダメされました。

今度はパッケージ通りの表現されているクセの無いDVDを見たいものです。

T・N



久しぶりにコメディ映画を見ました。楽しかったです。

N・D

DVDを見ました。アトリエで見るのの良い所は、自分一人ではチョイスできない映画を見れることです。今回見た作品は、とても刺激的だった。私だったら熊に発見されただけでびっくりしてバタンです。映画いいですね。

K・S